

# 第 3 章

## まちづくりの方向性

---

3-1 まちづくりの基本方針

3-2 再編コンセプト

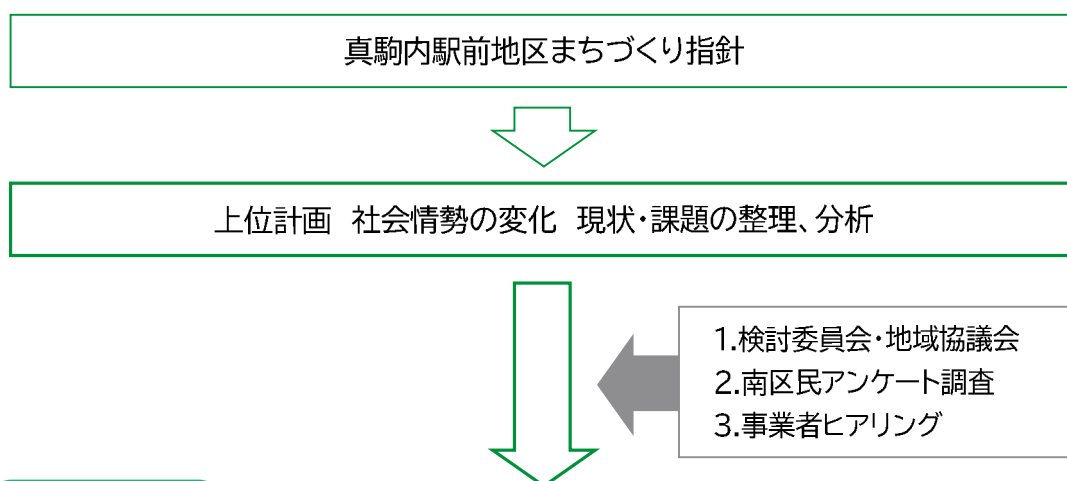


## 第3章 まちづくりの方向性

### 3-1 まちづくりの基本方針

本計画の検討に当たっては、前述の通り、検討委員会や地域協議会の開催、南区民を対象としたアンケート調査や民間事業者へのサウンディング型市場調査等の実施を通じ、様々な視点から意見(以下「地域議論等」という。)を伺いながら検討を進めてきました。

はじめに、南区及び真駒内地域の現状分析や地域議論等を踏まえ、3つのまちづくりの基本方針を設定し、それぞれの基本方針について、導入する機能の方向性を整理しました。



#### 基本方針

#### 1. “あらゆる世代が豊かに暮らせる持続可能なまち”の拠点

- ① 民間活力の導入
- ② 駅前にふさわしい公共空間の充実
- ③ 子育てしやすい環境の実現

#### 2. “歩いて暮らせるまち”の拠点

- ① 歩行者ネットワークの創出
- ② 交通結節機能の再編
- ③ 民間活力の導入(再掲)
- ④ 行政・公共サービス機能を駅に近づけて配置

#### 3. “地域独自の魅力を活かした特徴あるまち”の拠点

- ① 豊かなみどりをを感じる街並みの形成
- ② 駅前にふさわしい公共空間の充実(再掲)
- ③ スマートコミュニティの形成

### ◆持続可能な開発目標(SDGs)

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals、SDGs)は、平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、令和12年(2030年)までの国際目標として定められました。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲット(取組・手段)から構成され、地球上の誰一人として取り残さない(no one will be left behind)ことを明確に掲げています。

札幌市は、SDGsの達成に向けた優れた取組の提案が認められ、平成30年(2018年)に内閣府より「SDGs未来都市」として選定されており、市全体としてSDGsの推進につながる取組を行うこととしています。



本計画においては、まちづくりの推進を通じ、SDGsを構成する17のゴール(目標)のうち下記について達成を目指します。

| まちづくりの基本方針                                  | 関連するゴール |
|---------------------------------------------|---------|
| <b>基本方針 1</b><br>“あらゆる世代が豊かに暮らせる持続可能なまち”の拠点 |         |
| <b>基本方針 2</b><br>“歩いて暮らせるまち”の拠点             |         |
| <b>基本方針 3</b><br>“地域独自の魅力を活かした特徴あるまち”の拠点    |         |

## 3-2 再編コンセプト

まちづくりの基本方針を実現するため、地域議論等を踏まえながら、導入する機能や役割、それぞれの関係性を明確化し、9つの再編コンセプトを整理しました。これらの再編コンセプトに基づく取組を実施することで、真駒内地域全体ひいては南区全体に、にぎわいや交流、良好な住環境としての魅力を波及させていくことを目指します。

### 基本方針

1 “あらゆる世代が豊かに暮らせる持続可能なまち”の拠点

2 “歩いて暮らせるまち”の拠点

3 “地域独自の魅力を活かした特徴あるまち”の拠点

### 再編コンセプト

#### ① 都市機能の集積による生活利便の向上

商業施設などの「生活利便機能」、区役所などの「行政・公共サービス機能」、バス接続などの「交通結節機能」を駅前の主要な機能とし、相互間の人の流れを促すことによるにぎわい・交流の創出や、子育て世代を中心に多様な世代に向けた住環境としての魅力創出を目指します。

#### ② 真駒内独自の魅力の活用・向上

自然、スポーツ、文化・芸術など、南区・真駒内らしさのある機能の導入や地域資源の活用を図り、地区の魅力向上を目指します。

#### ③ 駅前にふさわしい公共空間の充実

駅前にふさわしい公共空間を充実し、駅前を滞留・交流の拠点や南区各地域の魅力発信の場とすることを目指します。



## 再編コンセプト

### ④ 交通結節機能の再編

南区の玄関口として、複数の交通手段のスムーズな乗り継ぎが可能で、快適な待合いができる空間を確保し、年間を通じて利便性の高い交通結節機能の実現を目指します。

### ⑤ スマートコミュニティの形成

駒岡清掃工場からの排熱の活用や先進的な環境技術、ICT※<sup>14</sup>技術の導入などにより、スマートコミュニティの形成を目指します。

### ⑥ 真駒内駅からの人の誘導（人優先の空間）

駅と駅前地区のアクセス性を高め、駅前地区への人の流れを誘導することで、にぎわいの創出を目指します。

### ⑦ 快適で安心・安全な歩行者ネットワークの形成

駅、駅前、街区間、周辺地域へ接続する安心・安全な歩行者ネットワークの形成により、バリアフリーな空間を創出するとともに、地域の回遊性向上を目指します。

### ⑧ にぎわいの軸の形成

駅前地区と既存の商業機能が連携し、にぎわいのある駅前通りの形成を目指します。

### ⑨ みどりをを感じる街並みの形成

桜山や駅前通りの緑豊かな景観を活かし、「みどりをを感じる街並み」の形成を目指します。



## 真駒内地域全体・南区全体に効果を波及

駅前地区における取組により、真駒内地域全体や南区全体に、にぎわいや交流、良好な住環境としての魅力を波及させていくことを目指します。

※14 【ICT】Information and Communication Technology の略。情報や通信に関連する科学技術の総称

◆再編コンセプトのイメージ図

